

# 実践 iPhone アプリケーション開発講座

コース概要	iPhone アプリケーション開発における基礎知識の学習と実習を通して iPhone アプリケーション開発の手法を学んでいきます。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"><li>■ Objective-C を理解する。</li><li>■ Interface Builder を利用したユーザインタフェースの作成方法を理解する。</li><li>■ iPhone SDK を用いた iPhone アプリ開発手法を理解する。</li></ul>
受講対象者	iPhone アプリ開発のスキルを学びたい方。
前提知識	言語を問わずプログラミング経験がある事が望ましい。 (プログラミング経験は必須ではありません)
期間	4日間

## 講座カリキュラム

### 第1章 iPhone アプリケーション開発の為の基礎知識

1. iPhone アプリ開発環境
2. Objective-C の基礎
3. Foundation フレームワーク
4. プロジェクトテンプレート
5. MVC モデル
6. アウトレット
7. デリゲート
8. ウィンドウ
9. ビュー
10. コントローラ
11. アクション
12. レスポンダーとイベント
13. ユーザインタフェースの為のコントロール
  - 13-1. ラベル
  - 13-2. ボタン
  - 13-3. セグメントコントロール
  - 13-4. スイッチ
  - 13-5. スライダー
  - 13-6. プログレスビュー
  - 13-7. ピッカー
  - 13-8. アクティビティーインジケータ

- 13-9. Info ボタン
- 13-10. ページインジケータ
- 13-11. プログレスビュー
- 13-12. サーチバー
- 14. 標準で提供されるボタンとアイコン
- 15. カスタムアイコン
- 16. ナビゲーションの為のバー
  - 16-1. ナビゲーションバー
  - 16-2. タブバー
  - 16-3. ツールバー
  - 16-4. ステータスバー
- 17. アクションシート
- 18. アラート
- 19. モーダルビュー

## 第2章 iPhone アプリケーション開発の実践

- 1. Hello World
- 2. 入力と表示の簡単なアプリケーションを作る
- 3. デジタル時計を作る
- 4. BMI 計算アプリを作る
- 5. 電卓アプリを作る
- 6. フォトアルバムを作る
- 7. Web ブラウザーを作る
- 8. 地図アプリを作る
- 9. RSS リーダを作る

## 第3章 より高度なアプリケーションを開発するために

- 1. ファイルとデータ管理
- 2. SQLite を使う
- 3. サウンドを使う
- 4. モーションセンサーを使う
- 5. アプリケーションの国際化

## 第4章 デバイスへのインストール